

# 新幹線 後志活性化策は

## 倶知安 検討会議が初会合



座長に就任し「新幹線開業を  
喜ばしやすさにつなげる議論  
をしていきたい」とあいさつ  
する李済民教授

声や各市町村の連携、2次  
交通の整備を訴える意見が

【倶知安】2030年度  
の北海道新幹線札幌延伸を  
後志管内の地域活性化に生  
かすため、具体的検討を進  
める座長官の「北海道新幹  
線後志開業効果活用検討会  
議」が19日発足し、町内で  
初会合を開いた。

小樽市や倶知安町などの  
自治体や小樽商工会議所、  
後志観光連盟など14団体と  
有識者3人で構成。座長に  
李済民小樽商大教授を選任  
した。後志総合振興局に事  
務局を置く。

回管内の行政・経済12  
1団体でつくる北海道新幹  
線しりべし協働会議を改  
組。従来は新函館北斗駅に  
到着した観光客ら呼び込  
むための情報発信などを行  
っていたが、今後は新幹線  
開業に伴う経済効果を高め  
る取り組みを行っていく。

会合には有識者や首長の  
約30人が出席。「観光客に  
周遊してもらったため特徴あ  
る「まちづくりが必要」との

上がった。  
検討会議は今後、インフ  
ラやソフト面について具体

的な議論を進めていく。

(金田博治)